



朝日子だより

大学紹介編 Vol.2

吉田高校の皆さんへ

今回は吉田高校から継続して進学している大学である「埼玉大学」を紹介します。
吉田OB・OGがそれぞれ所属しているコースでの取り組みなどを書かせていただきました。

紹介者； 埼玉大学教育学部・・・取材時の学年です！

4年 渡邊 友美（平成24年度 普通科卒業）：吉田中出身
……現在、埼玉県の中学校教諭

3年 奥田 みゆ（平成25年度 普通科卒業）：忍野中出身

2年 小川 美鈴（平成26年度 普通科卒業）：西桂中出身

埼玉大学は埼玉県のさいたま市にあります。
駅の近くではなく、最寄り駅からは、バスか自転車で通うことになります。大学の周りにはコンビニ、ファミレスやスーパーも多く、住むにはとても便利な場所です。病院も小さいものから総合病院のような大きな病院も近くにあるため、風邪などをひいても心配ありません。家賃相場は物件にもよりますが、3万5000円～5万円ほどだと思います。自転車、バイク等の通学は可能で、申請すれば車でも通学ができ、駐車場も完備されています。学食はほとんどのメニューが500円以下で食べることができ、季節によってメニューも変わりとてもおいしいです。自然も豊かな学校で毎日気持ちよく過ごしています。

大学の様子



専修・課程紹介

私の学科は各学年20人ほどの少人数で構成されています。男女比は女子が圧倒的に多いですが、中には男子の方もいます。養護教諭という同じ職を目指す学生が多く在籍しているため、互いに良い刺激が得られ自分の考えを深めることが出来ます。養護教諭の資格は看護学部などの医療系の学部でも取得できますが、教育学部では、どのように子どもと関わっていくのかなど教員としての視点も養えます。

（養護教諭養成課程 小川 美鈴）

埼玉大学教育学部の教育学専修、音楽専修、養護教諭養成課程を紹介します

わたしの所属する音楽専修は22人という少人数ですが、どの人も個性が強く、音楽にかける思いも人それぞれです。授業では、声楽・ピアノ・フルート・トランペット・ヴァイオリン・打楽器・三味線・作曲など今まで触れたことのない楽器や音楽を、専門の先生方のもとで経験することができます。また、大学内や外部のホールで自主的にコンサートを開き、意欲的に演奏の場を設けています。毎日の練習が欠かせないので、忙しい人が多い印象です。大学には練習用の個室があるので、一人暮らしで楽器不可のアパートを借りている人もいつでも練習ができます。

(音楽専修 奥田 みゆ)



私の専修は各学年30人ほどで構成されています。男女比は各学年で異なりますが、ほぼ同じくらいの人数です。他の専修に比べ、2年生というはやい段階からゼミ活動が始まるということもあり、縦のつながりが強く、とても仲が良い専修です。そのため、先輩方に様々なことを気軽に聞くことができ、参考にすることができます。勉強だけでなく、毎年1年生～院生、教授も含めたバレーボール大会も開かれていました。

(教育学専修 渡邊 友美)

現在学んでいること

音楽専修



主に小中学校課程の音楽科教育について学んでいます。3年生からは、ピアノや声楽など学びを深めたい分野の研究室に入り、ゼミ活動が始まりました。わたしは管楽器ゼミでフルートを専攻しているので、教授による週に一度のレッスンがゼミの内容です。また、教員免許取得に必要な実習が多くあり、今年の9月からは教育実習があります。

○資格

小学校コースは小学校教諭1種・中学校教諭2種(音楽)、中学校コースは中学校教諭1種(音楽)・高等学校教諭1種(音楽)。必要な授業を履修すれば、学校図書館司書教諭免許状なども取得可能です。



養護教諭養成課程

私は、養護教諭（保健室の先生）の資格取得のため、その専門的な知識や技術、教職に関することについて学んでいます。教育学部とはいえ、養護教諭は学校における医療のプロとして看護学的な技術も身につけていなければなりません。そのため、救急処置やからだの仕組みについて知識を深め、実践できるように励んでいます。その他にも、疾病に関する知識や保健室の運営のしかた、授業の仕方など幅広く学習しています。大変なことも多いですが、その分、将来につながる内容を学んでいるため、養護教諭に近づいているという自信が得られ頑張ることが出来ます。

○資格 養護教諭1種、中学校教諭1種（保健）、高等学校教諭1種（保健）、中学校教諭1種及び2種（保健体育）



教育学専修



私は、小学校、中学・高校の数学の教員免許を取得するため、教育に関する様々なことについて学んできました。授業では、基本的な知識、授業方法を実践的に学ぶための模擬授業に加え、教育全般に関わる心理学や、教育法学などについても学びます。また、私の専修では、2年生の頃からゼミ活動が始まり、教育文化史、教育政策と法、ジェンダー平等と教育、社会問題としての教育、教師教育・授業研究、の中から、自分の興味がある分野を選び深く学んでいきます。4年生になった今では、ゼミ活動の中で関心を持ったことについて、卒業論文を書き進めています。様々な学びを通し、教育全般について深く学び、より良い教師になれるよう、日々努力しています。

○資格 小学校教諭1種免許、各教科の中学校教諭2種

高校生と大学生の違い

高校では決まった時間割の中で与えられた課題をこなしていく生活で、そのスタイルにそれほど差は無いかと思います。大学にはたくさんの授業、たくさんの人、たくさんのサークル、そしてたくさんの時間があります。自分は何を学びたいか？何をすべきか？どれが必要でどれが不要なのか？**大学生活を決めるのは何もかも自分です。**自分のやるべきことを考えている人にとっては有意義になるけれど、何も決断できず中途半端に過ごしている人にとっては無駄な生活になります。

大学入学前、入学後の印象

入学前、大学では基礎から応用まで講義を通じて学んでいけると思っていました。これは講義にもよりますが、必ずしも全ての講義がそうであるとは限らず、中には専門的な内容から始まることもありました。実際に私の学科は文系、理系どちらからでも目指すことが出来、私は文系だったため、高校時代には生物は学ばず生物基礎の知識しかありませんでした。その為、「解剖生理学」という生物が関連している講義の際には知識が足りず、自ら不足している知識を補わなければならなかった為とても苦労したことを覚えています。また、生活をしていく中では自己管理能力が必要となります。高校までのような先生方による丁寧な指導はほとんどありません。自分の生活は自分で決めていくのです。日頃から、生活習慣を整え、課題の提出期限を守るなど自分の生活リズムを確立しておくことをオススメします！



卒業後の進路



教育学部では卒業生の約60%が学校教員として就職します。私の周りは様々な校種の教員を目指している人が多いため、一緒に試験に向けて勉強をしたり、面接練習をしたりしています。学校でも試験対策としてのセミナーなども開いてくれるため、教員採用試験に向けての環境がとても充実しています。

吉高生に向けて

大学選びは、将来の自分の就職に大きく関わってくるため、とても重要です。自分は何が好きなのか、自分はどのような職業に就きたいのか、時間をかけてよく考えてみてください。自分の気持ちがはっきりしたら努力あるのみです！先生方はいつでも親身になって支えてくれるのでたくさん頼って、自分の夢を叶えられるように頑張ってください！応援してます！

